京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金廿五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久耕一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所 京城新報社

内外應酬

京城智見錄 一記者

宇佐川東拓總裁は東京に於て人に語りて曰く

韓人を文明に導かん爲め心配し少しにても文明の恩澤に接觸せしめ一日も早く實を擧げんと欲し觀光團を組織せしめて我日本の進歩發達せる光景を目撃せしめたるに彼等は見るもの聞くもの悉く驚歎し居れるも[illegible]を語る時は郷黨より日本化せりと云はるゝを恐るゝの余り歸國後の今日に於ても猶反對の事實を語るが爲め竟に韓人一般の頭は日本なる國は慕ふべく學ぶべきの國に非らずとの考へとなり如何ともし難し云々

と、而して實に厭ずべきの至りなりと云へりと、之れ果して事實なるや否を知らずと雖ども、吾人は大阪朝日新聞の此の報道を信ぜんと欲す、於此乎聊か一言する必要起れり、

吾人は去四月六日の紙上に、會社が農業視察團を組織して渡日せしむるの計畫あるを聞き、關する其の團員の撰擇に深き注意を拂ふべきを以てせり、否らずんば折角の好計畫も何の効無きに終るべきを憂へたるなり、然るに吾人の憂へしもの不幸にして實現せられ宇佐川總裁は東京に於て耻曝かしくも前記の如き愚痴を溢しつゝありとは豈奥趣々しからずや、

抑も團体を組織して觀光、視察を遂ぐるは現今の流行なり、而して其の漸次盛なるを致す所以の理何に在りとするぞ豈啻に旅行の快興を貪らんが爲めのみならんや、必ずや其の費す處の時と金とに代ふべき利益あるが以にあらずして何ぞ韓國に於ても同業京城日報の主催せる觀光團、木浦新聞の觀光團等何れも豫期以上の効果を收め得たるは世人の認識せる處にして、這を證するの事實多々在りて存す、殊に京城日報第一回の觀光團員の多數は歸來口を揃へて親日の意見を發表し中には地方遊説を試みたる者すら之に有るに非らずや、然るを東拓の撰れる視察團員のみは反對の結果を齎らせりといふは奇怪といふも愚かなり、其理由を索ぬれば唯人撰を過れるが爲めのみ、而かも其の結果は、總裁自ら云へる如く「日本なる國は慕ふべく學ぶべき國に非らずとの考となり」たりと云ふ、東拓が費したる勞や些細にして費や輕微なりとするも、我の對韓政策に累する處は重且大なりと云ふべし、「世話甲斐無き韓人」ぞと澄し得ることならんや、若し是程の言を爲さんと欲せば宇佐川總裁ならずとも、時と金とを費さずとも容易に口にし得ることなり、無責任とも何とも言はん方無し、同社は正に其の人撰を過りたることを社會に向て陳謝すべきなり、

官吏増俸の影響

雜報

目下欠員中なる慶尚南道内務部長忠清南道及黄海道警察部長の人撰に就ては岡内部次官東上し各方面に交渉中なるが希望者は頗る多きも撰任條件を充たすに足るべき人材は遂に發見する能はず偶々此れあるも所屬官廳に於て其去るを惜み且つ本人自身も渡韓後の將來を悲觀し爲めに今尚ほ撰定を了せざる由特に渡韓希望者を往時の如く得る能はざるは内地に於ける増俸實行の結果に因るもの多く現に内地に在つて三割の増俸ある以上態々韓國に渡航して妻子と離れ生活の苦痛を忍ぶの愚を爲すにも及ばざるべく而已ならず韓政府の行政機關は極端なる中央集權にして地方に在職するもの〻如何に抱負經綸あるも到底驥足を展ばすに由なく斯く種々の關係より自然人撰に行悩めるものなりと云ふ

●日露鐵道連絡協議

昨春日露兩國間に締結されし旅客連絡輸送は昨今既に開始を見るに至りしが更に貨物直通輸送に關して締結する筈にて我政府よりは田中南滿理事を派遣し目下露都聖彼得斯堡に於て兩當局者間に協議進行中にて締結は好音を齎すべしとの事なるが來る七月に於ては更に旅客連絡の範圍を擴大して遠く西歐羅巴との間に協定を遂ぐる由而して同締結にして成効する曉には陸路鐵道に依る旅客は双方多大の便宜を感ずるに至るべしと

●各地慈惠醫院成蹟

淸州、全州、咸興の慈惠醫院は其後も成蹟極めて能く日を逐ふて事業盛大に赴き數少なき醫員は目の回る程の繁忙を感じつゝありといふ今左に四月中の成蹟を得たれば之を揭ぐべし

淸州
新患者數 一、五一三（内日人 一九八）
治療日數 七、八〇八（内日人 一四八六）
自費患者 一七七（日人）
治療日數 一、一八三（日人）
藥價收入 六十五圓〇五錢

咸興
新患者數 一、〇三三（内日人 七六）
延人員數 九、三九二（内日人九一二）

全州
新患者數 八九〇（内日人 一六七）
延人員數 七、七七三（内日人 一三五四）
私費患者 二六一（内日人 二三〇）
藥價收入 二百二十七圓九十三錢

銘酒 白雪 灘屋 龍山京町 電三三一

●遊食民天國を説く

慶北大邱郡解北面契亭洞の洞長李鍾夏の弟李鍾般、李甲達の二名は此程より救世軍に入り農事の繁忙期なるにも拘はらず一切稼業を捨てゝ顧みざるより長兄李鍾夏は深く兩人の不心得を諭したるに兩人は肯へ今は遊食するもこれ神の御旨にかなへる聖き業なれば追ては天國に上るを得べしとて頑として應せず救世軍の銅鑼や太鼓に町内を驅け回りるより長兄は大いに憤激し兩人が會堂にありしを捉へて之を殴打したるが左の頰を拊たれて右の頰を轉じ向くる迄金剛の信を抱くに至らざりしと見へ更に兄弟三人の大格鬪となり窓硝子を打割るやら器物を破壊するやらの大騷動を演じたる由

銘酒 一鶴

●忠北地方の旱魃

近時忠北地方を視察して歸來したる某客の談に依れば同地方に於ける旱魃は頗る甚だしく現に苗代の出來ざる地方のみにて農民は一般に憂慮し居れり

●賊徒討伐週報

慶尚北道順興憲兵分遣所上等兵二補助員四は去る九日順興附近に於て數名の賊徒と衝突一名を殪せり十四日江原道北倉分遣所上等兵二補助員四は同附近に於て賊徒十四名と衝突之れを潰走せしむ

日本銘刀傳

第百廿五席 津田近江之守（廿九） 邑井一鶴演

盗「何だ、生意氣なことを吐きやアがる、いかにも其奴を受取つて遣らう」銘々の者は「ソレ脫るな」と各自に差込んで居りました山刀を引拔きまして四五人正面から斬つて掛かりました、岡嶋は少しも騷がず、ヤッと一聲かけまするど、其の大刀の拔く手も見せず一人の肩先より胸板へ掛けまして斬り下げました、血煙立つてキャッと云つて其の所へ打倒れました、助直の一刀を以て早くも左方より進んで參る奴の肩先から乳の下へ是れも斬り下げましたので身体眞二つと相成りました、大勢の奴は此の早業に驚いて[illegible]「[illegible]殺んで了へ」と打ち込んで來まする奴を右に拂ひ左に斬り付け、其手際に一人の首は向ふへ飛んで了ひ、一人は胴斬りに相成りました、跡に殘つた奴は迚も敵はぬと逃げ出さうとする奴を、背後から追駈けさま又々片腕を斬つて落しました僅かの間に其の處に五人といふもの見事に斬り到しました跡に殘つた三人は命からく\\逃々の体で後をも見ずしてドシく\\と逃げ出して了ひました、先程よりの激しい勢ひに路の片傍に平伏り込んで了ひました又助は、目ばかりパチく\\させましてワナく\\慄へ上つて居ります、この時斬られて其の所へ倒れ苦しんで居る者を一々斷息を刺して廻り、死骸を路の片傍の谷底へ投げ込んで了ひました、血刀の眷血を拭ひどツタリと鞘に納めまして 彌「アー何うも骨を折らせ居つた、何うだ、乃公の家來の直助は能く働くだらう」 又助「旦那、飛んでもないことをなさいましたな、あゝやつて逃げ出した奴もございますが、また同類を集めて仕返に來るぢやアございますか 彌「イャ其様なことは構はない、心配するな、此所に酒がある、汝にも一杯飲まして遣らう」と焚火の側へ連つて參りまして德利を振つて見ますとまだ大分殘つて居りますから、邊りに散がつて居りまする茶碗を取上げ、酒で洗ぎまして滿々と其れに酌いでグッと一杯飲み干しました 彌「丁度よい燗だ、サッ貴様も一杯飲め 又「旦那、酷うございますね、泥棒の酒を飲みなさるのですか 彌「まア宜い、緩容飲んで行け 又「ヤッ何うも恐れ入りました、貴方は何を云はれても滅多に怒つたことのない仁で、岡島さんといふ仁は大体弱いのであるが彌いのであるか、サッパリ譯が分らないといつて噂をして居りましたが、實に今晩のお手の内は驚き入りましたることでございます 彌「なアに相手は多寡の知れた彼のやうな山賊共である、一遍直助が鍛へ上げて呉れたる此の一刀をば試したいと心得て居つたが、父子の合作……」再び鞘を拂つて焚火に透して見まするに、刄毀れなどは一ヶ所もしてございません「ア、實に天晴なる利刀」と大いに岡島は喜びました、ところで鞘に納め兩人は酒宴を致して居りましたが、先程逃げて行つた泥棒共は、何うして了つたか夫れきり歸つて來ません、相手なければ是非もなく 彌「ボツく\\行かうぢやないか」とそこでやがて此の處を出立いたしまして途に山中の湯へ參りました、二週間ばかりといふものは此所に逗留いたしまして、其の歸りがけでございましたが又々此の山中を通り掛りました、五人の者を斬り捨てました林の傍へ進み來りまして、能く\\中を見ますといふと、尤も此度は泥棒の巣窟と見なまして、見ると中には鍋または鉄或は山刀などが古莚に包んで置いてあり、また着物の類なども其の所に置いてござります 彌「ハヽアこては斯うやつて賊共が用ゐる道具の置いてあるのは、矢張此所へ夜分は集まつて仕事でもするか、併し乃公も熟々考へて見ると、此の所で五人の奴等を殺して置いて此處を通り越した、其の節加之に彼奴等が殘して置いた酒まで飲んだのだが、何うも泥棒の上前を取ねるといふのは如何にも面白くないから、事そのこと少し酒代し置いてつて遣らう 又助「旦那其樣なことをなさらんでも宜いではございませんか」

廣告

今般本院特に 胃腸病專門科を置く
龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

諸公債、諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 田中友吉商店 電話九九三番 發電略（タ）

仁川港 三巴醬油釀造場 電話七三番 最上醬油

和洋御料理
△各位の御引立を蒙り開店一年を過ぐ御蔭を以て座敷を改築し庭園を設け別に遠影の眺望あり
△調理はハイカラにあらず素人料理
△原料は新鮮、しかして却て別味あり
△御席料なぞは頂戴致さず
△御家族、凡べての御會合の會場或は御婦人方御同伴の御消遊に適す
△仲居あり親切にして愛嬌あり御客樣の御命令は何なりとも奉ずべし
△儲けないで儲ける素人料理安いの飛び切り一度御枉駕下さい
洋食 代金六十錢 御一人前六皿 ビール一本付
一會席 代金六十錢 御一人前六品 酒二本付
此外洋食は一品毎金廿錢和食は一皿金十五錢以上自慢の東京流天ぷら、高等しるこあり
たちばな
南大門通三丁目東、養生醫院裏光宮門筋向、明治町三丁目支那領事館西溝筋北に入目標赤點燈

三一館
京城本町五丁目

内外科 小兒科 入院隨意
梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
京城壽町三丁目 高井醫院 電話二一六

足袋 麻裏 和洋酒雜貨 醬油 龍
龍山元町三丁目（電話三二九番）中谷商店

提灯 新規張替 大勉強
並に硝子看板印物調進
京城本町一丁目裏通 藤井提灯店

はり、やいと 電氣マッサージ
龍山新市街柳町一丁目（電話六四二）中口由治

各科診療 南山町二丁目
松岡醫院 電話六七五番 入院隨意

ラムネ みかん水 金水舍製
例年の通り純良なる「ラムネ」「みかん水」製造販賣候間多少に不拘御愛飲を乞ふ
漢城製藥所 藥劑師 渡邊悅之輔 京城大和町二丁目

眼科專門
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄
京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院（電話三三）

新荷着
アイボリー石鹸
IVORY
DES GN PAT'D AUG.26.'79
各地雜貨店及藥店ニ販賣ス

諸建築 ペンキ塗請負業
永樂町二丁目（赤門通り）
正渡部正美（電話一〇二八番）

電話一一八二番
やちま
京城明治町 大槻商行質部
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

景福宮拂下 建物賣却
瓦斯コークス 販賣
京城南山町三丁目（電話一一四一番）酒井組出張所

東京電報

▲地久節と伊皇后 二十八日伊太利國皇后皇太后兩陛下より我が皇后陛下御誕辰日に御祝電到達したるに依り我が皇室より折返し御答電を發せられたり(廿九日)

▲曾禰子の親任延期 曾禰子爵の樞密顧問官親任は延期せられたり(三十日至急報)

▲曾禰子爵の禮遇 統監を辭したる曾禰荒助子は特に前官の禮遇を賜はる(同上)

▲廣瀨中佐銅像除幕 軍神廣瀨中佐の銅像除幕式は二十九日午前十時より神田須田町に於て擧行されたり東伏見宮其の他の皇族殿下を始め奉り海軍の重なる將校並に神田小學校生徒三百五十名參列財部海軍次官の告辭にて除幕し東郷大將の式辭ありて式終り直に祝宴に移り餘興提灯行列等ありて雨天にも拘らず非常の盛會なりき(三十日)

▲三宮殿下に贈勳 韓太子は韓帝より御贈進の勳一等瑞鳳章を捧持して今三十日午前朝香北白川竹田の三宮殿下を歷訪して親しく贈呈せり(同上)

▲統監更迭と副統監親任（號外再錄）

本日宮中に於て左の通り親任あり

韓國統監 子爵 曾禰荒助
依願免本官

陸軍大臣 子爵 寺内正毅
兼任韓國統監

山縣伊三郎
任韓國副統監

▲正副統監と閣議 新任統監副統監は本日臨時閣議に列席したり(同上)

▲瑞典公使の歸國 本邦駐劄瑞典公使ワルンブルレー氏は夫人同伴歸國の途に就きたり(同上)

▲副統監の來韓期 山縣新任副統監は來る七日頃東京出發來韓すべし(同上)

▲統監訪問の諸氏 滯京中の木内、岡次官、小松參與官、兒玉書記官は今三十日相前後して寺内新任統監及山縣副統監を往訪せり

▲根岸競馬會に臺臨 東伏見宮殿下には春期根岸競馬會開催に就き御名代として親しく臺臨あらせられ優等馬匹に對し恩賜品を御下賜相成りたり(同上)

▲清會輕便鐵道改修 政友會にては韓國咸鏡道清津港より會寧に至る輕便鐵道改修の急務を認め近く桂首相を訪問意見を陳述すべし(同上)

▲米國艦隊横濱入港 米國亞細亞艦隊旗艦チャルストン號はハバート少將引率の上横濱に入港す(同上)

歐州電報

▲獨皇帝と德川公 獨逸皇帝は目下歐州滯在中なる貴族院議長德川公爵及農商務大臣大浦男爵を春季觀兵式後伯林にて催されたる大宴會に招待したり(廿三日)

地方電報

▲支那軍隊の渡江 昨廿九日午前十一時四十五分左の電報其筋に達したり(三十日)
支那兵約百名ジャンクに搭乘し鴨綠江を逆り廿一日中滿江附近を通過し帽子山に向へり

平城電報

▲水道開通式の盛況 廿八日午後一時より水道開通式を行ふ朴内部大臣以下日韓官民約五百名來會空前の盛況を極む京仁の來會者百余名あり夜は市民の提灯行列あり(三十日)

▲巡幸紀念碑除幕式 昨日十時萬壽宮の韓皇巡幸記念碑除幕式あり朴内相以下二百餘名列席す(同上)

▲朴内部大臣の出發 朴内部大臣は今朝出發歸京す見送人學校生徒官民等多數(同上)

雜報

暴徒出沒の近況

八道に於ける暴徒の盲動既に久しく隨て此間幾多の消長を重ね今や往時の如く國權恢復を標榜して政治上の意を有する大集團は討伐機關の峻嚴なる勦討と搜索機關の嚴密なる索偵により漸次討滅に歸し戰死捕獲領士外の逃竄歸順等にて打綱し盡され支離滅裂し纔に一部の指揮を司りたる者自から首魁と稱し殘類を率ひて金品掠奪を目的とし昔日の敵愾心を有するものなく義兵なる美名の下に世上を太く短かく暮さんとする一種の獰惡なる强盜團と化し去れり其勢力極めて微弱にして中には六七十名の部下を有する者あれど常に此數の人員を引率せるものにあらず彼等が通行の區域は專ら討伐機關の所在に遠ざかりたる僻遠の村落に於てし平素一定の根據地なく晝間は山野に潛伏し夜陰かに備なきに乘じ出で良民に迫害を加へ其行動の不確なる忽ちにして西し忽ちにして東し容易に一定の地點に止らず巧みに道界郡界等嶮峻なる山中を經潛し討伐機關の視線銳鋒を避け商人又は農樵に扮したる斥候を各地に派し其情報を得て行動を開始しまざして面長里長又は富豪の老幼を拉去し償金と交換すべきを通告し或は素封家を襲ひ寡婦を姦し軍用品なる名の下に金品を掠奪せり若し之に應ぜざる者及彼等の動靜を密告したる者若くは日本人と認めたる時は忽ち之を殺戮し或は家に火を放つ等頗る戾暴を極む其去るに臨みては威嚇を加へて曰く官憲に密告せば多大の復讎を行ふべしと唯耶蘇敎徒に對しては害を加へざるを例とす現時尙其の出沒數比較的多きは全羅南北仁原黃海の四道なりとす近時一般に民衆の憎惡を受け被害を申告する者を增加したると討伐機關の行動機敏なると監視嚴重なる爲め日に益窘窮甚しきを加へつゝある狀態なりと

統監辭職と執奏

石塚總務長官は二十九日午前十時石井少將國分參與官を隨へ昌德宮に參内し仁政殿に於て韓皇に謁見し曾禰統監病氣の故を以て辭表を提出されたり此の旨言上する樣曾禰統監より申し來りたれば取り敢へず參内したりと奏上し歸途德壽宮に立寄り太皇帝に謁し前記辭表提出の事を言上したり

統監更迭と兩宮

石塚長官は別項の如く石井武官及び國分參與官を帶同昌德宮に參内韓皇に謁見して統監更迭の儀を言上せるに韓皇には痛く憂愁の眉を顰められ病氣の爲めなれば致方なしと仰せられたるのみ何事も語られざりしが更に德壽宮に參内均しく言上せるに太皇帝は痛く驚かせられ曾禰子の吾國に臨任せる日尙ほ淺きに拘はらず既に更任を聽く實に遺憾の極みなり然れども病氣には何人も克つ能はざれば折角自愛加餐を乞ふ旨貴官より宜しく傳達せられよと辭分巧みに仰せられたりと承はる

韓皇帝の御親電

韓皇には統監更迭の旨を聞知せられ直ちに曾禰寺内の新舊統監及山縣副統監に御親電を發せられたり

●前官待遇と曾禰子

曾禰子の統監辭職は愈々事實となり三十日親任式御擧行相成りたるが同時に子は特に前官の禮遇を賜はりたり國務大臣以外の親任官にして斯かる待遇を賜はりたるは曾禰子を以て嚆矢とするが右待遇に就ては子が如何に辭職を躊躇したるか其消息を窺知し得べし則ち子は死すとも決して其職を退かずと頑張し桂首相も殆んど其處置に困じ果てたる結果茲に一計を案出して緩介辭職すべく雖も韓國問題に若し重要會議を開き又は政策に一轉機を要する時は必ず之に參與せしめ又其獻策を容るべきを約し漸く納得せしめたるものにして所謂子の辭職は他動的强制たるを察し得べしと某氏は語れり

統監の更迭

▲昨夏伊藤公の後を受けて統監の職に就いた子爵曾禰荒助君は病の故を以て遂に冠を掛けた、世人は君の掛冠に就いて餘り驚かぬ樣だ、否な寧ろ其發表の早からざりしを惜んだ樣だ

▲君が副統監から統監に登つたときは丁度瀧を昇つた鯉の如く其氣焔は中々凄まじいものであつた、當時世人は君に向て大に期待する所があつた君亦萬更期待に負く氣は無かつた。

▲只茲に滑稽なるは世人が君の不言實行主義や不得要領主義を餘りに高く買過ぎた事であつた、君の不言實行主義も不得要領主義も過去一年間に化の皮を現はした、ドタイ大なる期待をする方が無理であつた。

▲君が平素の自慢は自家が日本第一の經濟家たる事であつた、而て其理由を聞けば君は邦人中泰西の經濟書を第一番に繙いたからだソウだ、シテ見ると君の思想は隨分古風單純な者だ

▲君在職一ヶ年其間に何をしたかと云へば全く零だ、若し强いて擧ぐれば新聞紙規則の改惡を斷行した事だ、併し之とて公益の爲ではなく全く自家の壘を固くするが爲のみであつた

▲君は難病に取付かれた、而して其難病の源因は河豚の暴食にありだ、曾て犧牲にされた無數の同族の爲に河豚は君に報復を計つた、而て遂に成效した、河豚の一念や實に恐る可だ

▲君就職の日より今日迄一年、其太郎分を床上に暮した、人生床上に臥して大業を夢む、快之より甚しきはなしだ、噫君の統監は夢に創つて夢に了た、而て其惡夢たるは勿論の事だ

▲今や寺内子新たに統監に任ぜられ山縣氏副統監に任ぜられた、思ふに世人は此新任者に對して多少の言分は有らう、併し前任夢先生に比しなばがまんが出來るであろう。

▲記者の新任者に對する感想は今の處は無垢だ、其無垢な所を追々に告白しよう。

●新政黨組織準備

二十七日午後二時より國民協成會々長尙積鉉副會長其の他數名の役員は會長宅に集合し何事か密議する所ありたるが今其の内容を聞知するに同會は爾來財政の困難なるを一方同會の發展覺束なく日に月に沈衰の狀態に陷るを以て寧ろ此の際解散すべきの得策なりとの協議一決し近々同會臨時會を開催し而して豫て沈日澤の發起にて平和會組織中なるが同會の主義と等しく且つ同會は前途有望にして昨今入會者有力なる實業家數百名に達し居る所より同會に合併すべしとか

●水利組合法案内容

水利組合法案は過般の法令審査會に於て略大体を審査結了したるが其の内容は組合の目的、地域、權利義務及組合員の資格等を規定したるものにて其の詳細に亘りては更らに施行令を以てこれを定むる由なり而して同法案は今一度審査會に懸け其の上にて閣議に提出すべしと云ふ

●平和協會韓國支部

過日歸國したる沈日澤は日本滯留中大限伯に面會し同伯が會長たる萬國平和協會の韓國支部を設置したしと申込みたるに伯は非常に贊成せられたりとて歸國早々中部相思洞に支部を設立したり其綱領は「日韓の親善を計り國利民福の增進を謀る」と云ふにあり

●聖神中學校の設立

佛人神父安世華の經營に係る聖神中學校は此の程設備完成したるを以て安は同校々長となり同校の維持費の全部は同教會の負擔とし去る二十三日より授業を開始せり現在收容學生は百余名

●大臣參與官の召集

二十九日統監邸に大臣、參與官を召集して臨時會議を開き石塚長官より統監は寺内子、副統監は山縣伊三郎氏に確定したる旨を豫め通達したり

●統監府の密議數刻

昨三十日午前十一時各參與官又び統監府各高等官榊原憲兵隊長等統監府に集合し統監更迭に就き前後策に關する密議を凝し數刻に涉りたりと云ふ

●觀察道の處務規程

内部は今回觀察道内務部分課規程を發布せるが更に之に伴ふ處務規程を發布すべく目下考査中なりと

●獨逸記者の巡覽

入京中の獨逸伯林モルゲンホスト記者チッテンフェルト氏は今三十一日は諸官衙を明一日は韓國側の各學校を視覽すべしと云ふ

●仁川入港の汽船

仁川に於ける廿九日の入港船は肥前群山の二隻にして上陸客は男五八女四出港船は群山丸一隻にて乘客は男六十八女四名なりしと

●面制度案の審議

法令審査會に於ては水利組合法案大体に於て審査を了したる以て愈面制度案を討議すべしと

●豫備金支出裁可

閔島派出員諸費六千三百四圓及無線電信設備費三萬一千九百六十圓支出の件裁可されたり

●支店長の披露宴

十八銀行仁川支店にては來る四日仁川倶樂部に於て支店長の新任披露宴を開く由なりと

●島村判事送別會

京城控訴院島村判事は釜山地方裁判所へ轉任に付司法部高等官一同花月に於て送別會催す由

統監更迭と官界

統監曾禰子爵は愈々冠を掛けて後任の撰定既に了はり此旨統監府へも公電あり茲に於て石塚長官は二十九日急遽各大臣及參與官を召集して是を傳へたるが既に豫期せる事ながら今更事新しく感じ胸中の悲喜自ら其舉動に現はれたるぞ是非もなし此消息を得て最も喜ぶものは誰れ喜ばざるものは誰れに就ては一々是を物色するまでもなく挾くに世人の悉知する次節なるが唯だ今次の更迭は普通の更迭に非ずして大に意味ある更迭なれば韓人は孰れも不安の眉を顰め居るが如し則ち病曾禰子其職に堪へずして掛冠すと言はんよりは半島問題解決の必要是を促がせる所以なれば其結果必ず驚天動地の變革なるべしとは何人も豫想する處なり隨て各方面に多少の動搖を見るべく期待せられ腰の落付かざるものは政務の樞軸を握れる大官連是れなり今此消息に對し悲喜兩劇を色別すれば半島問題解決に伴ふものと更迭に伴ふ其椅子の動搖を氣遣ふ輩にして一は多く韓人に屬し一は官僚の一味なりとす而して前者は是より盛んに躍起運動を開始すべく後者の胸中亦種々の夢想相往來し居るべし茲數旬の官界は頗る看物なり(電通)

●●●●●統監更迭紀念號●●●●●

曾禰統監は遂に掛冠し寺内陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈默せし統監政治は茲に

面目を一新し世上の

景氣は活氣を帶びんとする

れば本社は兩統監の親任を記念する爲

一大記念號を發刊

せんとす其詳細に至つては之を次號より報ずべし

京城新報社

寺内統監の渡韓

新任統監陸相寺内正毅氏は一應渡韓の上施政方針を定むる筈なれど身激職にあるを以て急速渡韓する事能はず然し遲くも來月下旬には渡韓する豫定なり

新副統監の急行

新任副統監山縣伊三郎氏は三十日新任式を濟ませ急行渡韓の途に就く筈なり

做るのみなれば學部に於ては今回心理及び生理上より身体の發育に適合する最新の体操法を記載したる書物を發行し各學校に於て敎授せしむる筈なるが來月中旬までに發行を了へ今夏期講習會に之を試用せしむ可しと

●奉化郡方面の不穩

本月初旬より奉化郡小川面及び春陽に各火繩銃を所持する賊徒五六名晝夜の區別なく出沒して民家を襲ひ財物を掠め横暴を極める由にて村民の言に依れば小川面の山中には約二百名の賊徒ありて晝間は山中に潛み夜間は各所に出沒して民家を襲ふを以て村民は目下耕作を中止し里長等は殺害せらるゝを虞れて所々に逃走し村内は騷擾を極めつゝあり而して物品の强奪せらるゝもの頗る多く面長は春陽へ避難し二十日守備隊より出したる偵察隊が同地へ達したるとき賊は山中へ逃げ込み揚言して曰く軍隊去らば人民を鏖殺すべしと此爲め偵察隊は豫定の日數を延期し搜索中

●京龍合併と電話料

今次京城及龍山の兩民團が合併することゝなりたるに就ては兩地の電話も統一せられ其料金の引下げを爲すべしとの說ありたるも當局者の語るところに依れば今日のところに於ては決して斯る詮議を爲したることなく電話の加入區域と行政區畫とは全然別個のものにて京城の復線式と龍山の單線式とは之れを同一の區畫に置き得ざるの事情もありと云ふ

●憲兵分遣所の新設

平安北道博川郡博川邑に分遣所を設置し去る廿六日より事務を開始したり

●外國旅券出願手續

内部は一昨紙報せし如く海外渡航者取締りに關し告示第五十三號を以て左の通り公布せり

外國旅行券下附願書には自今民籍謄本又は其の氏名本籍地及身分證明の文書を添附するを要す請願者は所轄警察署に請求して其下附を受くべし

●取引所問題の答申

京城商業會議所にては過日の臨時總會に於て豫ねて理事官の諮問に係る取引所設置を可決したるに依り三十日午前中村會頭の名を以て理事官へ答申せり

●京城民團祝電發送

京城民團にては新統監及び副統監に新任の祝電を前統監に對しては在任中の好意に對する旨の電報を發したり

●李學相の北韓視察

南韓地方に於ける學事狀況視察を了へて歸來したる李學部大臣は六月六日を以て北韓地方視察の途に上る筈なりと

●松永師團長の訪問

昨三十日午前十時松永師團長は軍司令部に大久保軍司令官を訪問したり

●宇佐川總裁の歸期

東拓會社總裁宇佐川男爵は來る三十一日夜に歸任すべき豫定なりと云ふ

●榊原憲兵隊長出張

榊原憲兵隊長は山形分隊長松村副官を隨へ三十日長湍へ視察の爲出張したり

●第三回着任道主事

第三回道郡主事は既に着任せるを以て内部は六月三日召集訓示を與ふべしと

公人私人

△岡本直太郎（日本製粉株式會社販賣主任） 二十八日入京東海
△淺見忠治（釜山水道事務所長内部技師） 二十九日入京浦尾
△伊藤賴濟（陸軍憲兵中尉） 同上旭
△佐治敬一郎（臨時海軍建築支部員海軍大主計） 同上京城ホテル
△秋山榮太郎（全浦警察署長）同上佐伯
△池田治之助（度支部土地調査局平壤出張所技師） 二十八日入京平壤
△三井久陽（平壤監獄典獄）同上平壤
△米山熊五郎（技師） 同上釜山
△朝倉傳五郎（滿鐵社員）同上安東縣へ
△和田維四郎（工學博士） 同上仁川へ
△小野是一郎（内部技師）廿九日仁川へ
△竹内卷太郎（慶尙北道書記官） 二十九日大邱へ

▲治外法權▼

きまりソウできまらなかつた統監の更迭も愈發表になつた、是迄に運んだ桂候の苦心は中々尠なくなかつたことと思ふ▲發表になつて見ると片瀨の大將は是れで重荷を下ろした、其代り寺内山縣が重荷を背負ふことになつた、芝居は之からの事だ、ドウか面白い處を拜見さして貰はふ▲聞けば山縣は近日乘り込んで來るソウだ、ソウして二三の幕僚を連れて來るソウだ、參與官の小男爵は到底免がれまい▲滅多に號外を出さぬ本紙が今度は奮發して統監更迭の號外を出した、素より判り切つた事ではあれどサア發表となつて見ると同じ號外でも讀人に因り喜憂の運びが起る▲曾禰子退職と聞いて予の園留辭職を祝する爲大白を擧げた連中が幾らもある、夫に引換へ本紙の號外を手にして今日から身の振方をドウショウカと落涙に及んだ連中も澤山ある、中に最もイヂラシイのが日韓瓦斯の岡崎と仁川の秋田と京城日報の大岡だ▲併し岡崎と秋田とは疾々曾禰さんとは他人だ、只利益の爲にクイ付いて居つたと云ふのに過ぎぬが故に明日から他に乘換へれば夫れで事が濟んで仕舞ふ、大岡に至つては事情が違ふ▲大岡の女房は曾禰荒助の養女だ、養女の亭主が御用紙を引受けたのは舅の政策を補ける爲でもあつた、不幸にして舅が破れた、大岡たる者ナニ晏然として止まる譯に行かぬ、何れ殉死は當然の事だ▲大分縣に有名の兄弟がある、兄の名が打出て見れば白妙、妹の名が富士の高根、何たか歌狂ででもありソウに思ふ。

●號外發行

昨日は統監更迭の號外を發せり

シガー、ブドウ酒、ブランテイー、洋菓子、果物カン詰類
ガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨、洋酒食料品、洋煙草類、金銀屬美術品
直輸入商
本町二丁目
辻屋
支店電話三六八

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉強請負
永樂町二丁目
赤門通り
椹野工舍

名妓洗髪のれ妻（三）

▽れ邸の暮しはモウ眞ッ平　▽御最負連名帳の一ページ

高島さんの紀尾井町のれ宅には、れ子達が澤山居られるといふので、其れ世話がたく〱、何も初めから奥様といふ譯では無く、れ邸へ這入り込む話になりましたが、私のれ腹はまだ其時迷つてゐて、何うとも判斷が附かぬので、

伊藤の御前に話に行くと、

滄浪閣の二階のれ部屋で例の刀いぢり、座つてゐられる周圍は刀掛で取圍んであつて、何の事はない下手な刀屋さん、御前は何でも

立派な黄金作りの三尺餘もあらうかと思れる刀

を拔いて、刄先から鍔元までズイと見込んでゐられましたが、私の話しを默つて聞き了つて、刀は拔いたまんま、柄頭を小膝にトンと衝いて、夫れはれぬしの決心次第だがね、高島の邸へ行くからには、夫れだけの覺悟が無くてはならぬ、對手が高島なら惡くもなからうが、今まで勿れぬしの暮しが暮しだから、物堅い邸の生活に辛抱が出來るかね、私の思ふには、何うしてもれぬしは常も云ふ前髮の**れ妻**になるのがれぬしの**死場所**だと思ふが、まア〱高島の話が厭なのならば、窮屈に考へないで、厭になれば何日でも歸つて來る積りで行くが好からうと仰言つて下さつたので、ツイ心を決めて高島さんのれ邸へ行つたのでしたがね、一つは長の間泥水稼業の檢束のない生活が骨身に染みてゐるのでせうか、邸での朝晩の**七面倒な他人行儀**な暮にはツク〱辛抱が出來ませんでしたね、其上れ子供衆のれ世話といふのが、實に〱堪られぬ程面倒臭い其ばかりではなく、總領のれ**孃さんへの氣兼**が又一通りや二通りぢやなかつたものですから、ツク〱素人になるのは骨の折るものだと考へては、矢も楯も溜らぬ、高島の御前に申上げて、ツイと其まま歸つて了つたのですが、夫れでも一ケ月ばかりは居りました、もう〱れ邸の暮しは懲り〱ですわ▲然りとて長く此の稼業でれ座敷を勤めてゐられるものぢやなし、私は實の處、出來れば今年の中に何處かでれ茶屋をしたいので、より〱には心がけて居ますが資本は何うして拵らへるのだらう、何は何うなと、例の朝鮮行の縁故もあるので、萬熊の親方に始終聞きに行くのですが、藝者も斯うなつちや駄目ね▲夫れにつけても昔の事を考へると私が藝者になり立てなど、前にも話したやうに大景氣でしたので、其時分の事が思ひ出されますわ

お最負連名帳の一頁を一

寸讀上げますと、十五銀行の肥田さん、中井弘さん、槇州山人ね、税所さん、小森さん、岩崎彌之助さん、元郵船會社の森岡さん、井上勝さん、古川泰次郎さん、伊集院さん**此處等が**

一ページ目です、まだ〱

繰ると不思議な方が飛出しますが惡いから其れは預りと致しませうよ

三面電報

滿韓相撲の顔觸　東京

大相撲の滿韓巡業番附發表さる常陸山、梅ケ谷、駒ケ嶽、國見山、小常陸、伊勢ケ濱、碇潟、玉椿、兩國、土州山、大湊、鳳、大野川、八島山、瀧之音、鏡川、黒瀬川、梅の花、近江富士、大蛇潟以下四百余名の一行なり

漢陽公園の開園

▽來會者二千余名　▽近來になき盛況

南山西麓に新設されし漢陽公園開園式は廿九日正午より擧行されたるが豫想の通り非常な盛況にて石塚長官を始め日本側の重なる官民朝鮮民間の重なる有志者來會し韓國側よりは閔宮相高度相趙農相尹侍從卿中樞院議長金承寧府侍從長等にて日本人二千余名と註せられたり太皇帝陛下よりは徐侍從を勅使として差遣され先づ池田長次郎氏開會の辭を述べ次で徐内協氏は太皇帝の祝辭を朗讀し韓國側總代長は是に對する禮辭を陳べ趙農相の祝辭演説ありて海津氏は龍山を代表し公園に對する希望を述べ四時式を終り模擬店芝居を開始したりミルクホール正宗ビール汁粉團子れでんり等ありて客々に立寄るあり日本晴の好天氣に若葉の緑り滴る下清風に衣袂を吹かるる心地得も言はれず餘興の藝者手踊京城日報職工團の素人劇等に三十分の餘興を盡して散會せしが式場を開放するや一般の公衆は踵を接して滿山人を以て埋めたり

水道會社の不埒

▽工事跡仕末の不都合

旭町一丁目二百十八番戸内田勇次郎（三二）は二十八日午後十時頃旭町一丁目より二丁目へ通ずる法官官舍上道路に於て水道會社が工事中該道路を堀鑿したる個所へ陷入り衣類を汚し脚部に微傷を負ひ一般交通上危險なる旨届出に付直ちに南署より出張取調しに何等交通危險豫防なきより水道會社へ電話を以て照會したるに一向要ずる見込なき爲め南署より人夫を雇ひ應急豫防爲たる由なるが不都合なるは水道會社なり

女振り

加藤清亮師夫人　加藤たき子

加藤清亮師は旭町三丁目の日蓮宗身延派の韓國布教師で護國寺の住職だ、内地名古屋の何寺であつたか一寸名は忘れたが或る寺の御住職で當地は兼攝である、れ年は若いが中々の利け手で大學林の出身だ、日蓮宗には高徳な僧よりは豪毅濶達の僧が多い、海外布敎の先鞭は違つ昔しより同宗の高僧に依りて着けられて居るのだ、夫れは日本佛教界の大偉人高祖日蓮大菩薩の開宗の御趣旨が攝取とよりは折伏にあつたに基くのだ、が現時は夫れのた株を親鸞大上人の法燈の下に奪はれた傾があるのは殘念だ、閑話休題、たき子夫人は東京のれ産れでれ年は二十八か九と承知する、約う七年程前仁川の或るれ人の周旋で遙々渡嫁せられたのである、普通ならぬ御利發で檀徒の氣受けも好い、夫人の御兩親も現在同樣せられて居る、別段不思議と云ふ次第ではないが同寺には常に食客が二三人と云ふものの絶ねた事がない、と云ふのも一つは夫人が六つ箇敷ない方だからとも見る事が出來る、夫人は中山派の加持祈禱を爲さる、檀家中に病人でも出來ると費用自辨で車を驅つて見舞ふ、場合に依れば夜を通じて印を結び呪を切つて御座る相な、確か一條女子技藝學校裁縫專修科の卒業生である、れ子さんはない、一つは其の爲もあらふた年よりは若く且つ美しい。

●麗水京城間に一年

▽郵便局の責任如何

農商工部水產局の茂木萬助氏は昨年五六月の楨南館へ出張中六月十一日付を以て全南麗水より水產局の小川衆右衛門氏へ宛て書面を差出し返事を待ち居るも遂ひに來らざるを以て己むを得ず態々歸京して小川氏へ糺せば左樣なる郵便は到着せずとのことにて相互ども不審に思ひ居たる所該郵便は昨二十九日京城局の消印にて到着したりと

●無罪を言渡さる

鹿兒島縣人平民當時咸鏡北道羅南生駒町樋口依太郎（四五）は明治四十二年十二月二十二日同町の内田金次郎方に到り欺き清酒四斗入一樽を騙取し又同町宮崎金造なる者の頼母子講開會の都度代理出席したるを奇貨とし昨年八月二十三日同人の持株を稻垣多四郎の周旋にて田中某を欺き金三十圓を騙取したる廉にて四月六日咸興地方裁判所に於て懲役一年六ケ月に處せられ控訴申立爾來京城控訴院に於て審理中の處二十八日前判決を取消し無罪の言渡を受けたり

●又しても說諭願

福岡縣人當時吉野町安田さの方白田政吉（三〇）は三十八年淸國旅順に出稼ぎの爲め渡航し昨年十二月渡韓せし者なるが郷里には六十有餘の老父母妹たき（二四）は病氣弟滿太郎は淸國大連に出稼ぎ中とて宿元は貧困にて生活に窮し居るにも係らず病氣と稱し再三再四送金を申込み老父は親子の情よりして近隣の者に同情を求め借用して送付せしに又々病氣と稱し送金願出たるに依り歸國說諭願提出せしより西部署に於て本人を呼出し不心得を說諭し旅費金を西部署の手を經て取りよせ歸國せしむ

●泥棒が泥棒した

とて敢て不思議はないが香川縣香川郡東濱村字沖松島村五十六番地平民當時龍山漢江通り四丁目下宿屋山田浦方止宿荒川米吉（三六）といふは去四十一年十一月中仁川理事廳裁判所に於て押領罪にて懲役三箇月に處せられたる前科者なるが曲つた性根は如何な苦役の苦しみにも直らず去五月十二日午前一時頃山下町往連内堅石方に忍入り婦人用襟卷外四点代價二十五圓餘現金六圓を竊取したるを手始めに陸軍官舍二箇所に於て衣類雜品九十余圓現金二十五圓を竊取したること露見し龍山署に引致目下取調中

●地獄への拔け穴

二十九日の十一時頃北部壯洞紫橋の或る堀井戸へ向ふ鉢卷勇ましくナムアミダンブルカンセーブーサとも何んとも云はず飛び込んだは同所居住の水汲夫姜澤模（三三）外一名にして水道が出來た爲め不景氣になつたのを苦にしての投身ではなく淸潔法勵行の爲め威勢よく其の浚泄に從事中何心なく井戸底の石を取り除けたるに何かは堪らん上部の石塊一時に崩落し澤模は遂に壓死したるが三十日午前中漸く死体を堀り出し得たりと

●搔浚ひ

櫻井町七十一番戸宮良永島大雄は二十八日朝自宅入口に於て短靴一足（代八圓）を新炭賣のサリヨ〱に取られたりと皆さん御用心〱

素人演劇の盛況

△好評の裡に演了す

本町一丁目靑木堂主催の素人演劇は一昨二十九日初日開催午後五時開場し同七時に至り既に滿員となりて閉場したる位にして空前の大盛況を呈したり、而して登場各優は何れも熱心に演じ素人としては無類の好評を博したり就中高橋辯護士巴城館の松本氏等も最も能く演じ朝鮮日報の山羅、大和商會の中田、村上寫眞、久保田靑木堂氏等何れも上出來なりし淺井氏のヴイオリンは專門家丈けに喝采を博し少女露代子の一座に加はりしは萬綠叢中の紅一點とも云ふべく井門の政子とれあやの大羅廉權助の出語り杯も大に興を助けたり此日靑木堂の接待は頗る行屆き福引の餘興も面白く來觀者は何れも非常の滿足を許せり尚は當日は數名の西洋人も來觀し何れも手を打つて稱贊し居たり

忠實なる店員

釘本藤次郎本店員　佐藤半次郎君

同店には支配人を置かぬ、主人藤次郎氏が支配人は兼務である、佐藤半次郎君は大伴頭で云はい次席と云ふ所だ、三重縣伊勢國鈴鹿郡龜山町字東町で明治九年九月六日生れ、釘本氏は外交方面が忙がしいのでれ不在勝ちだが半次郎君が各部の主任達と協議して一切の事を處理して行くから心配はない、三十六年七月二十一日に雇傭せられて以來陰日向なき活動振りが主人のれ鑑識にかなつて今日の地位に據へられたのである、由來伊勢人は機略縱橫の才より地味な而して緻密な思慮に富んで居る、三河屋の多くなければならぬ東京に伊勢屋の多いのは即ち夫れである、君が同店に重きをなして居るのも即ち夫れである。

御成座の落成式

▽六月初旬に蓋明け　▽人形芝居を興行す

南大門外御成町吉野町古市町等を中心として同方面の繁榮を計る爲め組織されたる南大門外繁榮期成同盟會にて其目的を遂する第一着として御成町に劇場を設置し御成座と命名し既に内外の裝飾も整ひたれば近日内地より人形大芝居を招き花々しく開場する筈なるが近々京龍合併の曉は同方面は其中心となるべき土地なれば同座の前途には多大の望みを囑されつゝあり

目と耳

▲高等演藝館　エム、ダイアモンド商會主催の同館にては爾來毎夜晴雨を論せず午後八時より開演し大喝采を博しつゝある活動寫眞來る六月一日よりの映畫左の如く入れ換へたりと　象の水遊（實寫）樋の滑稽（滑稽）大賊の義俠、韓國日本觀光團（實寫）不思議の獲物、餘興日本手踊、西班牙皇室の御慶事（實寫）惡戯の子供（滑稽）餘興韓國妓生踊、ラジヤ珍奇箱（極彩色）情夫のトランク旅行（滑稽）女性の間諜（悲劇）玉突の結果（滑稽）大顔の魔術（着色）

▲壽座　三十一日の替り狂言は「嬌隨院長兵衛一代記」にして切は所作事「つり女」なりと　極樂重三、太郎かじや（甑若）女房れとく、美女（正三郎）勘次平、本庄助七（内匠之助）水野十郎兵衛（三之助）唐犬權兵衛、惡女（甑太郎）寺西勘心（九十郎）白藤金五郎、大名（竹三郎）嬌隨院長兵衛（大舍）

●仁川雜事　全羅南道咸平郡財務署主事李鎭皓（三〇）と云ふは昨年末在職中恐喝取財及詐欺取財の大罪を犯して逐電し仁川に潜伏し居りたるを去る廿七日仁川署李刑事の爲め看破せられ同日取押へられ目下取調中なりと云ふ▲仁川善哉會第二回例會は去る廿八日午後三時より倶樂部三層樓上に於て開かれしが來會者五十余名に及び余興として桃川燕樂の講談、ヴアイオリンと三味の合奏、滑稽角力の取組、淨瑠璃琵琶等あり消興を恣にして七時半散會を告げたり

▲平民文庫▼

▲新町南山樓の仲居鑾は近日入れ換へる相だ夫れが南山樓の爲めだ今の奴等は氣に入らぬ客が來ると駄鳥の死んだ如くグーとも云はん夫れに引き換へ高島屋の仲居は巧手なものだ併し帳場は少々不都合を働く妓達も帽子一寸平大福等は左樣こともない樣だ南部南枝は親切だ（新町生）▲執行猶豫の恩典に與かつた淸州農銀支店長石原は公判廷で彼をヤング、ゼンツルマンとして取扱つた裁判長の審問振りに遇ひ同情深き檢事の論告を聞いた時落淚三滴彼れの金綠眼鏡は曇つた……何んだか小品文の如だ……その事若し傍聽席に北の方が居つたら判官を九拜して定めし物の分つた方だわと譽るだらう（ズイ、オー生）▲浪花館の若遊三は萬事拔け目なく勤める故每夜の客止は祝し升が枕がいつも同じ故聞にくい夫れに若遊三の出る時の塲合が長い故改良をしてはしい（ひゐき）▲高等警察とか治安警務とか云ふ恐ろしい肩書を振り舞はし文武秀才の巡査や憲兵が奇拔な漢語を用ゐての御訪問は誠に有難い只恐入るのは談話の要點を御採用なくては群盲象を評す的の御評判を立てられた事だ（赤門通り生）▲京城局の廣田君は忠實に正直に何時もよく働らいて郵便係の任を全うして居る君は休日はない樣だ夜も提灯さげて遲く迄アチコチ奔走して勤めていられると他人が賞めて居る（感心生）▲[illegible]巡査伊東某に關する記事事實ならば自分名を署して頂きたい然らざれば殘念ながら本社にて直接聞き込む迄掲載を見合せますと同時に當局官憲へ對しては同人の素行調査を希望して置きます（係）

今日の運勢

五月卅一日　舊四月廿二日　六白先勝丙申　平

△一白　享通の日なり大抵吉事事を擧行するは尤も適す
△二黑　平靜の日婚姻示談中裁の事効多し旅行入學門新事見合せの事
△三碧　新事見合せの事妄言誘惑に陷り易し證券印章注意すべし
△四綠　不快の事多し殊に衝突爭論負傷遺失防ぐべし
△五黃　交際上怨情を挑發され易し酒色賭事を戒しむ
△六白　受任委托請願中裁示談新事見合せの事證券金品授受間違あり
△七赤　猜疑にわかり且爭論紛紜起り易し
△八白　短慮を沒する勿れ尚精算決算上紛紜起らんとす
△九紫　新事及模樣替方針替凶朋友知己の事係累あり（本町三ノ一館判斷）

●天氣豫報（自卅日午後六時　至卅一日午後六時）

南東の風　曇

廿九日（華氏）　最高溫度　八四、〇　最低溫度　五五、九

廣告

入院隨意　京城西小門通六番戸　菅醫院　電話一三二五番

新荷着
英國皇室御料　コンマンダー
英國製　スヰトホーム
京城本町二丁目　織居商店　自轉車部　電話八百四十番（ヲ）

六月一日ヨリ　岐阜提灯賣出し　利益なし元價の　一張二十五錢

足袋　本店東京　京城大和町一丁目（日の出橋際）　大和屋　藤井出張店　明治町勸商場内二モ出張店アリ　電話二百〇五番
正札付大安賣　厘毛引なし安心して買へ升

韓國土産話
甲、當地に良い物はありませんか
乙、日希商會へ行つて見なさい
本町二丁目　日希商會（御存）
口貰が　此地の實界でのま　EDP　印埃及金

訴訟正訴其他諸般の代書
作成者として迅速に依頼に應じ
右以て其衝に當り
京城裁判所前　池田事務所

木材賣却廣告
一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸角以上二尺迄
一尺寸角以上二間半
右木材多數所有致し居候間御望の方は特別安價にて賣却仕候御來談被下度願上候
京城旭町三丁目　建築業　柴田芝六　電話五百六十八番

(第三種郵便物認可)　明治四十三年五月卅一日　京城新報　(火曜日)　第四百十七號

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

マッサージ術
僂麻質斯。坐骨神經痛。
脊髓炎。腰筋骨
一切の術
小生儀内地に於て他年の間斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を設け廣く患者の需に應す
京城西小門通(三ツ角)
佐世保より出張
井手

内科
小兒科
(入院隨意)
京城日の出町小學校前
多々見醫院
電話九百四十番
前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授
從七位勳六等醫學得業士 院主 多々見五郎

牛乳
韓國商事株式會社
南大門外
電話八八番

開業御披露
和洋會席御料理
本月十五日より開業
仲居及料理人其他器具類一切神戸より輸入し御待遇親切設備高尚にして頗る美味なる御料理を以て勉強致候間陸續御來遊之程奉希望候敬白
京城旭町三丁目
神戸 富田家支店

弦齋流割烹
に歌舞伎辨當
材料の豊富と技術の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
出前の儀は電話又は御一報次第即刻持參可致申候
南山町一丁目(電話一五〇二番)
すゞ禰

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

紙と印刷
諸官衙御用
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ一層一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛置時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇二五番)
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町二丁目憲兵分遣所前(電話一三二八番)
右特約店 金化堂時計舖
京城本町四丁目角
右特約店 中村時計店
各地方より御注文は發送實費申受候

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正増補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

●朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覧會褒状受領
(井)
滋養強壯人参飴
世界第一等の滋養品牛乳鷄卵に優る効數倍
元祖發賣元 京城本町二丁目 井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一とせらるゝ朝鮮人蔘を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土産品なり本品は殊に夏季の强壯劑として稀なる適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於て最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大阪賣店
龜屋(本支)
青木堂店

金魚各種
卸小賣
龍山山下町二丁目(兵器支廠官舍入口)
陸軍御用達 馬木勇吉本店
電話三六四番
京城本町五丁目一番戸角
茶器商 馬木勇吉支店
電話四七一番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭
アサヒ サツポロ ビール
精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋
(西) 西崎嘉七本店
(電話二一〇電製(二カ)
振替貯金口座韓七番

京城和生町南門湯横(電話一二九四番)
自午前八時
至午後九時
●花柳病專門附痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 蘆田耕平

論より證據
來て見りやわかる
食道樂
京城壽町二丁目
電話九四四番

韓官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスフアルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
富山藥業合資會社製品特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京築地十番 東京新橋南鍋町一丁目三六九二

資本金一千萬圓
積立金五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二〇五一番)
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し

京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
金錢貸借 電話讓渡
土地家屋 老舖賣買
人事百般 其他
周旋業
明治屋

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙里院、博川、寧邊、義州、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、
韓國銀行

京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)
奥出洋服店

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

明治廿年七月創立
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

開業
代書仲介
今般小川法律事務所ヲ辭シ左記ノ處ニ事務所ヲ設ケ書ク代書仲介ノ御依頼ニ應シ可申候
京城本町一丁目理髮店隣(淺限旅館隣)
林久米藏信託事務所
(電話六七三番)
事務員 寺井引

内外科
花柳病
(入院隨意)
京城南大門外
戸田病院
電話九三八番

衛生御用
新鮮及調進
明治町壹丁目
新井秀太郎
電話……番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

御用
大韓醫院 清和病院 御用 特定
純良 京城大和町
牛乳
荒井牧場
電話一〇五六番

滋養と牛乳
純良
牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹六九〇番
馬車配達
衛生と消毒

★株式會社 百三十銀行韓國支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、兵庫、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、五島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、德島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣
清國 晉州、肖州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候